

## 令和3年 第104回多可町議会定例会 一般質問

(1日目) 3月18日(木) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
1	大山由郎	子どもの安全を確保せよ	町長・教育長
2	藤本一昭	生涯学習センター建設基本計画について	町長
		既存企業の増強、新規企業用地の確保が必要	町長
		幼児の通園バスの今後の運営について	教育長
3	門脇教蔵	育児と介護(ダブルケア)の対策について	町長
		地方創生事業について	町長
4	山口邦政	子育て支援の充実を	町長
		ふるさと教育で地方創生を	教育長
5	廣畑幸子	通学路の安全について	町長・教育長
6	橋尾哲夫	各集落三役に女性の登用	町長
		新ゴミ処理施設には最低発電施設が必要	町長
7	市位裕文	買い物対策	町長

(2日目) 3月19日(金) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
8	門脇保文	新型コロナより危険なワクチン 未知なる遺伝子組み換えワクチンの怖さ	町長
		地域コミュニティの拠点づくり 八千代区Aコープ跡に公設コンビニを	町長
		多可町在住の漫画家の才能を生かせ 漫画によって多可町を全国にアピールする発信源に	町長
9	清水俊博	令和三年度「施政方針」について (変革 そして未来への約束)	町長
		令和三年度「教育方針」について (明日の多可町を担うところ豊かな人づくり)	教育長
		ひとり親等世帯へ急ぎ支援の強化・拡充を (疲弊するひとり親環境へ急ぎ支援が必要です)	町長
10	笹倉政芳	ワクチン接種の体制整備は	町長
		いまこそ「一日ひと褒め」を推奨しよう	町長
11	加門寛治	新型コロナウイルスのワクチン接種について	町長
12	酒井洋子	福祉と公共交通の再考を	町長
		学びの場を快適に	教育長
13	日原茂樹	DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進せよ	町長
		人口減少時代の上下水道経営を問う	町長

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議員 吉田政義 様  
 多可町議会議員 大山由郎




受 領 日	番号
令和 3 年 2 月 22 日 午前・午後 8 時 30 分	/

質 問 の 項 目 及 び 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 子どもの安全を確保せよ	町長・教育長
<p>4月になると、期待で胸をふくらませた新入生が登校し始める。こうした子どもたちの笑顔がいつまでも続くよう、子どもの安全を守るために、子どもを取り巻く様々な危機に立ち向かう準備をしなければならない。子ども自身の能力開発、生きる応用力の育成等でシティズンシップ向上をめざせ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校等における、子どもの安全を確保するための取り組みは。</li> <li>2. 通学路等における、子どもの安全を確保するための取り組みは。</li> <li>3. 学校等及び通学路等において、子どもに対する犯罪被害が差し迫っている場合（緊急時）の安全対策、防犯訓練は実施しているか。</li> <li>4. 学校等における安全教育、家庭及び地域における安全教育等、子どもに対する安全教育の充実は図られているか。</li> <li>5. 関係機関・団体との連携体制の整備等はなされているか。</li> <li>6. 土日及び祝祭日等における、子どもの安全確保への配慮はできているか。</li> </ol>	
2.	
3.	

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議長 吉田政義 様  
多可町議会議員 藤本一昭 

受 領 日	番号
令和 3 年 3 月 / 日 <u>午前</u> ・午後 11 時 36 分	2

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<b>1. 生涯学習センター建設基本計画について</b>	町長
<p>平成 25 年の生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会からの提言から 7 年が経過しています。新年度から新たな検討委員会を発足することですが、これまで 7 年間の社会情勢や学習環境の変化等を含めて新たな発想で検討すべきであると考えます。</p> <p>アスパルをも含めた、健康総合文化学習センターとして、多目的に対応した施設整備をして、コンビニ、カフェを含めた複合施設を目指すべきではありませんか。今後の展望の説明を求めます。</p>	
<b>2. 既存企業の増強、新規企業用用地の確保が必要</b>	町長
<p>多可町の財政力指数は、0.33 がここ数年維持していますが、これは町内の全企業の皆様の頑張りのおかげであります。そこで、多可町は産業の増強するためにも、既存企業の業務拡大や新規企業の誘致を促進のために工業用地の確保は、必要であると思います。多可町で工業用地（団地）造成事業化を検討すべきであると思います。町長の所見を求めます。</p>	
<b>3. 幼児の通園バスの今後の運営について</b>	教育長
<p>多可町は、現在 7 台のバスで幼児保育のために通園バスを運行しています。前岸原教育長からは、令和 4 年度からの運行、制度について改めて検討していきたいと説明を受けていますが、今後の方向性として廃止、継続、拡大のどのプランをお考えか伺います。</p>	

## 質 問 の 内 容

### 1. 生涯学習センター建設基本計画について

平成 25 年の生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会からの提言から 7 年が経過しています。新年度から新たな検討委員会を発足することですが、これまで 7 年間の社会情勢や学習環境の変化等を含めて新たな発想で検討すべきであると考えます。

この際、中プラザの会議室ホールは耐震性が不足しており近い将来建て替えが必要となりますのでプラザの機能を含めて検討が必要でありとおもいます。センターの建築場所は、アスパルの南隣を予定されていると思います。

そこで、アスパルの施設も近いうち 5 年以内には、大規模補修工事の時期を迎えますので、この際、総合文化・学習・健康センターとして、多目的に対応してアスパルとの一体的施設利用・整備が望ましいと考えます。

そして、議会では高校生議会を開催していますが、その際の質問には、図書館、コンビニ、カフェ等の複合施設を求めた意見や提案を数多く受けておりますので、是非ともこれらも検討して計画実施して頂きたいと思いますがいかがでしょうか。町長の今後の構想・展望の説明を求めます。

### 2. 既存企業の増強、新規企業用用地の確保が必要

多可町の財政力は、0.33 がここ数年維持していますが、これは町内の全企業の皆様の頑張りのおかげであります。そこで多可町の産業の増強するためにも、既存企業の業務拡大や新規企業の誘致を促進するためにも新規の工業用地の確保は、必要であります。町で工業用地（団地）造成事業が必要と考えますが。町長の所見を求めます。

昨年度から策定中の多可町都市計画マスタープランでも検討課題の一つで有ることは間違いのないと思います。このプランにも明記していただきたいと考えます。

また、今年度多可町議会におきましては、生活環境常任委員会が神崎郡福崎町の工業団地建設工事の視察をいたしました。福崎町は 5 ヘクタールの農地を転用して工業団地の建設整備をされています。そのお隣の加西市は、加西インターチェンジ付近で約 10 ヘクタールを第 1 期の工業団地の建設工事中であります。中山間地においても産業の振興は大切でありますし、住民の雇用事業所を確保することも重要であります、その上、財源である関係租税の対象ともなります。

そして、実施にあたっての土地は、農地においても、十分な検討は必要ですが持続可能な産業の振興を図るためにも、農地についても、検討対象とすべきであります。工業商業の整備振興の為には、検討をすべきであります。町長の所見をお尋ねします。

### 3. 幼児の通園バスの今後の運営について

多可町は、現在7台のバスで幼児保育のために通園バスを運行しています。前岸原教育長からは、令和4年度からの運行、制度について改めて検討していきたいと説明をされました。今年からは、越川教育長が就任されていますので、今後の通園バスの運行についてどのようなお考えなのかお尋ねします。

あらためて方向性としての廃止、継続、拡大のうちどのプランをお考えか伺います。

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議員 吉田政義 様

多可町議会議員 門脇教蔵



受 領 日	番号
令和 3 年 3 月 3 日	3
午前・午後 9 時 20 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<p><b>1. 育児と介護（ダブルケア）の対策について</b></p> <p>ダブルケア、今後、少子高齢化が加速していく中で、福祉という点から考えると必ず大きな課題になっていくであろう言葉です。</p> <p>育児と介護のダブルケアについては、30代後半から40代の世代にとっては、今後深刻な問題です。晩婚化、出生年齢の高齢化が進んでいる現在にあつては、40歳を過ぎて出産されることも珍しくなく、その場合は、親御さんが70歳以上で介護状態となった場合、育児、介護両方を抱えることとなります。そして状況の中で、子供の保育園、小学校の問題、親御さんの施設入居の問題、様々な課題が想定され、社会人として懸命に仕事に従事し、親として懸命に子を育て、子として懸命に介護に努める、そんなダブルケア当事者を新たな発想の下でしっかりと支えていかなければならないと思います。町の取り組み今後の対応をお伺いいたします。</p>	町長
<p><b>2. 地方創生事業について</b></p> <p>平成26年まち・ひと・しごと創生事業法が施行され、多可町でもまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的方向と目標が示され、基本目標「選べるまち・選ばれるまち多可町をめざす」基本的方向として「多可町の原点（オリジン）に立ち返り、時代のニーズにあった付加価値の高い、まち・ひと・しごとの好循環を創出する」とあります。そこで質問をさせていただきます。</p> <p>平成27年から令和元年までの5か年間の施策をまとめられた第1期総合戦略で「選べるまち・選べるまち多可町を目指す」を基本目標に、人口減少対策、地方創生に取り組みされてこられた成果は、あつたのか。どのような事業をされてこられたのか。</p>	町長

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議員 吉田政義 様  
多可町議会議員 山口邦政



受領日	番号
令和3年3月4日 午前・午後10時45分	4

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 子育て支援の充実を	町長
<ul style="list-style-type: none"><li>・出生数低迷について、どこに原因があり、どのように評価をするのか。今後の支援策はどのように考えるのか。</li><li>・キッズの民営化で浮いた4,300万円は子育て支援策に充当されているのか。</li><li>・町は事業所に対して働きやすい職場環境づくりへの配慮の働きかけをしているのか。</li><li>・産前産後のヘルパー制度導入が必要では。</li></ul>	
2. ふるさと教育で地方創生を	教育長
<ul style="list-style-type: none"><li>・町が目指すふるさと教育とはどのような人材の育成にあるのか。</li><li>・その実現のためにどのようなカリキュラムで行っているのか。</li><li>・ふるさと教育を通じて、卒業後の定住促進につなげるべきではないか。</li><li>・今後のふるさと教育の方向性はどのような形なのか。</li></ul>	
3.	

## 質 問 の 内 容

### 1. 子育て支援の充実を

町長が掲げる大きなスローガンとして、『「子育てするなら多可町」と言われる町を目指す』ことがあげられています。そこでその成果と今後の支援策について質問をいたします。

過去 10 年間の出生数の推移をみますと、平成 23 年 24 年が 130 人台で、平成 25 年から 27 年にかけては 110 人台になり、平成 28 年には 108 人、そして平成 29 年には 89 人と二桁台に落ち込み、30 年が 86 人、令和元年が 77 人、令和 2 年には 72 人と年々減少が続いています。

合計特殊出生率も 1.4 前後で一向に上昇傾向に向かう気配がありません。上向き気配とならない数値についてどこに原因があり、どの様に評価をされているのでしょうか。そして出生数の上昇に向けて今後どのような支援策が必要と考えておられるのか答弁を求めます。

平成 31 年 4 月から加美・八千代の両保育園が民営化されました。民営化により浮いてきたお金については子育て支援の強化に使っていくとの事でした。昨年 9 月の令和元年度決算審査時に民営化で浮いた金額は約 4,300 万円との答弁をもらっています。これらの財源は子育て支援策に充当されているのか答弁を求めます。

次に、具体的な子育て支援策について 2 件ほど提案をさせていただきたいと思えます。

昨年出された「第 2 次子ども・子育て支援事業計画」をみますと、母親の就労状況というページがありますが、「現在就労していて産休・育休・介護休業中ではない」と答えた方が就学前児童の家庭で 64.2%、小学生の家庭で 80.9% あり、多くの方が働きながら子育てを行っておられます。我々が子供時代及び子育て時代は 3 世代同居がほとんどで、祖父母世代は定年を迎えて自宅におられる家庭がほとんどでした。今は 3 世代同居でも祖父母の方々も就労されている方が多いと思えます。両親はもちろん祖父母世帯も含めて就労先の事業所の理解が必要です。

個々の従業員が子育てや孫育てでの休暇などの時間的な配慮を就労先に求めることが難しい面もあります。社会全体で子育て支援が必要な今、町から事業所に対して子育てしやすい職場環境にさせていただくような働きかけはされているのでしょうか。町も事業所が協力していただくように積極的な働きかけが必要と考えます。

もう 1 件は、産前産後のヘルパー制度の導入です。私なりに県内の自治体の



状況を調べてみましたら、16自治体で導入がされています。令和3年度からたつの市でも導入されるようです。県内の町での実施は、猪名川町、播磨町、香美町での導入が確認できました。

導入している内容は、妊娠中や産後2カ月から1年程度の期間で、回数は自治体によりまちまちですが、調理や洗濯掃除・買い物などの援助をするために有償でヘルパーさんを派遣する事業です。

一億総活躍社会実現に向けて働き方改革が推奨され、女性も高齢者もいつまでも働ける方向へと社会が動いています。どうしても昼間は子育て中のお母さん一人となるケースが出てきています。子育てによる「産前産後うつ」も増加している中で、子育てしやすい環境づくりのために産前産後のヘルパー制度の導入が必要なのではないのでしょうか。

町長の答弁を求めます。

## 2. ふるさと教育で地方創生を

東京一極集中等に見られる都市部への人口流出により多可町からも多くの若者が出て行ってしまいました。人口減少を克服し、地方の活力や賑わいを取り戻し、将来にわたって成長力を確保し、「活力ある日本社会」を維持するため平成27年より地方創生の施策がとられてきました。多可町においても平成27年より「まち・ひと・しごと創生」の戦略を立て、昨年には第2期の総合戦略が立てられて人口減少の施策を展開中です。

そんな中で出生数の減少と共に止まらない若者の町外への流出が大きな課題となっています。

私は、学校教育の現場においても地方創生の実現のために、若者が生まれ育った地域への定住、たとえ町外で就職したとしても何らかの形でふるさとへの関りを持ってくれる関係人口となる人材の育成が必要だと思います。その一つが「ふるさと教育」だと考えます。

そこで以下の質問をいたします。

- ①町が目指すふるさと教育とはどのような人材の育成にあるのか。
- ②その実現のためにどのようなカリキュラムで行っているのか。
- ③ふるさと教育を通じて、卒業後の定住促進につなげるべきではないか。
- ④今後のふるさと教育の方向性はどのような形なのか。

以上、教育長の答弁を求めます。

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議長 吉田 政義 様

多可町議会議員 廣畑 幸子



受 領 日	番号
令和 3年 3月 4日 午前・ <del>午後</del> 4時 55分	5

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 通学路の安全について	教育長・町長
別紙参照	
2.	
3.	

## 質 問 の 内 容

通学路の安全についてお聞きします。

通学路は、子どもたちが安全に学校に行けるルートを考え、普段から点検をし、危ないと考えられる場所を確認そして安全対策をしています。

毎年、危険と感じられる場所があれば各学校から要望が出ます。夏場に出るので、交通安全プログラム対策会議で調査・現場視察します。会議には、学校関係の他、生活安全課・建設課だけでなく、西脇警察署や加東土木事務所多可事業所にも入っていただいているメンバーで協議を重ねます。そして対策を考え計画的に対応していきます。

例えば、中町南小学校から令和2年度の要望ですが「国道427号と町道曾我井中央線の曾我井バイパス交差点では、曾我井の児童がこの交差点の広い歩道を集合場所に行っているため、児童の通学時に通勤する車が多く、もらい事故が心配」というものがあったそうです。対策として「交差点南側東西に1カ所ずつガードパイプを設置」また「集合場所を変更する」の2点が挙げられており、現在はどちらも対策済みとなっています。

ただ、学校からの要望は3つとなっているようです。もちろん財政が豊かであれば、子どもたちが安全に通学できるようにと、気になる箇所は全て対応できるでしょうが、それもなかなかできない現状とは思います。

先日、松井小学校の保護者から「通学路に溝があるのですが、子どもが通学途中に落ちてけがをしたことがあります。他にも落ちた子があり、危険です。安全対策をしてもらえないでしょうか」との話がありました。

現地を見に行きました。浅い溝で深さ約50センチメートル。深い溝では、深さ1メートル以上ありました。幅はそれぞれ約50センチメートルそして1メートル20センチメートルありました。また距離もありました。

たまたま子どもさんが落ちたのは浅い方の溝だったそうですが、それでも足に傷跡が残っているとのこと。もし、深い方に落ちた時など打ち所が悪かったということになる可能性も否定できません。

またこの溝は、家のそばにもありますが、家のあるところは塀などもあるので子どもたちは離れて歩くでしょうが、家の途切れているところは、つつい端の方を歩いてしまうのではないのでしょうか。また町営住宅が建っていたところがあるのですが、現在は道の側に住宅は無いので端を歩いているかもしれません。

そこでお聞きします。

○落ちる子どもがあるのなら、是非安全対策を講じるべきと思いますがいかが

ですか。

○各学校から要望は3つと聞いていますが、それ以上の要望があるときの対応は。

○令和2年度の内容で、豊部バイパスは施工中ですが、その他のものはほぼ対策済みとなっています。しかし、予定のものもいくつかありました。その後の状況はどうですか。次年度に持ち越すものもあるのですか。

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議長 吉田政義 様  
 多可町議会議員 橋尾哲夫



受 領 日	番号
令和 3 年 3 月 5 日	6
午前・午後 9 時 00 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<p><b>1. 各集落三役に女性の登用</b></p> <p>男女共同参画計画（10年）がスタートして本年3月で3年が経過します。具体的に62集落の区長・会計担当三役に女性は少ない。近隣自治体にはすでに集落の区長会計の三役に女性が50%を超えている市があります。男女共同参画計画を積極的に進めるべきです。集落の三役の就任は町が積極的にお膳立てする必要があります。実施している市は女性が三役に付けば補助金が出ていると聞いています。多可町でも補助金を出し、女性の区長さんが増加すれば地域の活性化につながります。町長の答弁を求めます。</p>	町長
<p><b>2. 新ゴミ処理施設には最低発電施設が必要</b></p> <p>新ゴミ処理施設建設は平成28年6月23日、北播磨清掃事務組合から多可町議会全員協議会の席では西脇市・多可町1市1町で建設です。新ゴミ処理施設建設には発電施設が絶対条件です。大災害があれば関西電力もストップし2週間以上停電でゴミ施設が稼働できない。また、国も地球温暖化防止策として、SDGsを奨励、県も脱炭素社会を目出します。ゴミ熱で発電しガソリン車から電気自動車（ゴミ運搬車）に変えるべきです。温水ハウス程度では熱効率は悪く施設の維持費用（ランニングコスト）もでません。町長の答弁を求めます。</p>	町長
<p><b>3.</b></p>	

## 質 問 の 内 容

### 1 女性の登用について

森喜朗氏は東京五輪・パラリンピック組織委員会会長が辞任された。森氏の女性蔑視発言が辞任原因です。日本の社会や政治の根底にある問題をあぶり出したものです。欧米諸国と比べれば女性の活躍度が低い日本です。今回の辞任劇はムラ社会を思い起こす排他的同調圧力が充満しています。少子高齢化と人口減少社会の中、とにかく若い世代が少ない集落では隣保役員も2～3年で同じ人がでている隣保も多くあり集落役員の維持すら困難な状況です。町行政が積極的に女性の社会参画を支援することが各集落の活性化により、町全体の活性化にもつながります。

### 2 新ゴミ処理施設の建設について

南但ごみ処理施設（南但クリーンセンター）

養父市・朝来市総人口55,000人 西脇市・多可町総人口60,000人  
人口は西脇市・多可町より約5,000人少ない。

工期 平成22年9月から平成25年5月 稼働平成25年7月1日

敷地面積 31,000㎡

施設 ○高効率原燃料改修施設 鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）

地上4階地下1階 4547.19㎡

バイオマス施設 熱回収施設

○リサイクルセンター

バイオマス施設 メタン発酵で小さな施設でも発電可能となった。

メタン発酵槽⇒脱硫装置⇒ガス貯留槽⇒脱湿装置⇒ガス発電機

令和3年2月5日、南但広域行政事務組合の2月定例会が養父市で開催され、令和3年度の一般会計予算案で、売電事業収益が約7,500万円計上されている。

各地から多くの自治体の視察があり、優れた事業と評価されています。

2月1,2日南但クリーンセンター（ゴミ処理施設）を外からみてきました。

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議員 吉田政義 様  
多可町議会議員 市位裕文



受 領 日	番号
令和 3 年 3 月 8 日 午前・午後 8 時 30 分	7

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<b>1. 買い物対策</b>	町長
<p>多可町の著しい高齢者の増加を考えると、今後増えるであろう「買い物難民」の問題が迫りくる事を思い質問します。</p> <p>12月議会の一般質問でお示した、Aコープ近畿八千代支店の閉店を中心にお聞きします。12月の一般質問から3カ月が過ぎようとしていますが、現実的に4月になれば店の閉店が始まり、いつものように店に行くと初めて現実に直面します。それじゃと他店に行ける人がいる一方、困ってしまう人がいるのも事実です。</p> <p>やはりすぐには自助で解決するのは無理で、公助が働き、とりあえず救いの一手が必要と考えます。確かに町長も、必要性を認識されたと感じられたと思います。最終的には共助が必要と考えられます。</p> <p>そこで、お考えをお聞かせください。</p> <p>最終的には、小野市が応援した下東条の住民の運営するスーパーの開店の形が望ましいとも思いますが、大変な労力と時間がかかります。八千代区の3台の移動販売車やコープ神戸の宅配の充実も考えられます。エアレーベンの拡充を考えられては。タクシー券の発行も考えては。</p> <p>高齢化が進む八千代区の大和地区、天船地区そして加美区の北部地区と連鎖していきます。人口減少、高齢化と憂い事が多い多可町にとっても買い物難民対策は最重要事項と考えます。</p> <p>町長の熱い気持ちをお聞かせください。</p>	

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議長 吉田政義 様  
 多可町議会議員 門脇保文



受 領 日	番号
令和 3 年 3 月 8 日	8
午前・午後 8 時 30 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<p><b>1. 新型コロナより危険なワクチン</b>                      未知なる遺伝子組み換えワクチンの怖さ</p>	町長
<p>昨年より新型ウイルスにより世界中がパンデミック状態であります。わが国では、428,553人の感染者数の内、7647人が死亡、回復者が405,257人です。感染者数の内95%の人が回復しております。世界に比べると遥かに少ない感染者数であります。このような中に於いて臨床試験のない不安なコロナワクチンの投与が感染予防対策として必要なのか？7つの問題点について質問します。また、副作用が出た場合、誰が責任を負うのかについて質問します。</p>	
<p><b>2. 地域コミュニティの拠点づくり</b>                      八千代区Aコープ跡に公設コンビニを！</p>	町長
<p>長きに渡り八千代区のAコープが3月末で閉鎖されます。2年前に継続のお願いに本社に参りました。「すぐに閉鎖することはありません」との事でしたが、閉鎖に至りました。近接の小野市が公設のコンビニをこの春4月からオープンするとの事ありますので、どのような思いのこもった施設なのか検証することにより、早急な今後の取り組みが出来るのではないかと思います。</p>	
<p><b>3. 多可町在住の漫画家の才能を生かせ</b>                      漫画によって多可町を全国にアピールする発信源に</p>	町長
<p>現在多可町の発信をインターネットやホームページ、ポスター、チラシ等で宣伝されていますが、漫画という新たな方法で全国に発信して頂く事も必要ではないか。鉄腕アトムやゲゲゲの鬼太郎、ドラえもん、アンパンマン等このような漫画を通して多くの子供達や青少年や大人が影響を受け成長してきました。</p> <p>日本の漫画は、世界的にも有名ですし、年代を問わず皆が面白可笑しく読んでくれます。稀に見る漫画家の才能を生かせ。</p>	



## 質 問 の 内 容

### 1. 新型コロナより危険なワクチン

昨年より新型コロナウイルスにより世界中がパンデミック状態であります。欧米諸国では、死者 2,506,344 人で増え続けています。わが国では、令和 2 年 1 月 22 日～令和 3 年 2 月 26 日までに 428,553 人の感染者数の内、7647 人が死亡、回復者が 405,257 人であります。感染者数の内 95%の人が回復しております。世界に比べると遥かに少ない感染者数であります。インフルエンザに比べても感染者数が少ないです。この数字を見ても大騒ぎする様な風邪菌ではありません。

感染者数の 95%が回復しています。殆どの方は発病しないし発病しても重症にならない。これは PCR 検査に問題があるのではないか？WHO（世界保健機関）から昨年に PCR 検査に於いて Ct（サイクル）30～35 以内でないと効果が無いと通達が出ているにも拘らず、今年の 2 月 15 日まで 40～45Ct で測定されていた。そのために感染者数の約 9 割の感染者が感染者でなくなることとなります。各都道府県状況を見てもこの計算式に当てはまります。中国に隣接の台湾では PCR 検査が 30Ct で検査しているために、ほとんど感染者が出てこない、都市封鎖もなく営業時間の制限もなく、経済的なパニックもない状況です。

ウイルス学会では、新型コロナ感染症拡大のメカニズムが、弱毒性であるために感染している。インフルエンザはコロナより強毒性である為に感染しなくなっている。他の感染症も減っているとの報告もある。

新型コロナウイルス感染症の発生率は低く、感染のひどい国でも 1000 人に数人程度しか感染していない。日本にはもともと土着のコロナ菌への免疫力があり、今回の新型コロナの感染により獲得免疫がもたらされ、交差免疫が出来るのではないか？当面は各々が然るべき努力をする事によって、終息すると言われている。

間違った PCR 検査により感染者数を 90%増やし国民に危機感を煽り、不安と動揺を与え、自殺や倒産に追い込まれ廃業する事業所。経済的に大きな打撃を与え、その上に、十分な臨床検査なしのワクチン投与を勧めようとする意図は何なのか？

この様な現状の中に於いて、集団免疫の名のもとにコビット 19 (COVID-19) 病へのワクチン投与の必要があるのか？このワクチンは、今までのワクチンとは違い、遺伝子により抗原を作り抗体を作るために、どのような副作用が出るか、十分な検証がされていません。

## 問題点

1. 開発が優先され、安全性が軽視されている臨床実験そのものである。ウイルスベクターワクチンの場合、弱毒ウイルスをもちいても毒性を復活させる。
2. 有効性に疑問がある。新型コロナウイルスの実像が解っておらず、感染者でも抗体免疫反応が衰えるなどの問題が指摘されている。
3. mRNA ワクチンは、使われる mRNA が不安定な物質であり有効に働くかが疑問。
4. いずれも、人間の遺伝子組換えであり遺伝物質が生殖細胞に移行すれば、人間の遺伝子改造に繋がる。
5. ワクチン投与した人間そのものが、遺伝子組換え生物細胞の規制と定めたカルタヘナ法の対象になるはずであるが、その点についても何も示されていない。
6. 人間の複雑な免疫システムに介入するために、このような無理な人体実験が、アレルギーや過敏症、自己免疫疾患などをもたらす危険性がある。
7. SARS の開発が頓挫した原因である。ウイルスの感染や増殖が強まる抗体依存感染増強 (ADE) が起きる危険性がある。

以上の問題点がある中に於いて、ワクチン投与が緊急に本当に必要なのか？意図的に PCR 検査 Ct 数を過剰に上げ、マスコミが危機感を煽るような社会情勢であったが、現在終息しつつある中に於いて、新型コロナ・コビット19より危険なワクチンもどきを投与する必要があるのか？現在の遺伝子ワクチンでは細胞性免疫を獲得できず、その効果の期限も数か月未満になる可能性があるかと危惧されている。誰のためにワクチンもどきを投与するのか？副作用が生じた時には誰が責任を取るのか？町長の所見を問う。

コロナに関して正しい知識を得る事。それが「怖がらずに恐れる」ということになります。

本来検証までには20年かかると言われています。このような危険なワクチン投与を個々の責任に応じて行う事は余りにも無責任ではないのか？

## 2. 地域コミュニティの拠点づくり

長きに渡り住民の生活の要であった A コープ八千代店が 3 月末を以て閉店となります。八千代区の人口の大半を占める中心地であるために、人口的にも多くの高齢者の方々がご利用されていた A コープで御座います。今後も高齢化が進み、自動車も乗れない、公共交通の不便さが益々住民に押し掛かってくる買い物難民になろうとしている今日。毎日の日用品や食料を今後どのような形で確保するのか？非常に大きな問題が差し迫っています。急を要します。

この件に付きましても 2 年前に同僚の議員と一緒に継続のお願いに本社に参りました。「すぐには閉鎖することはありません」との事でしたが現実に閉鎖されることになりました。再度頼むより、地域が新たな活力を生み出すためにも、小野市が「公設コンビニ」をこの春 4 月よりオープンするとの事であります。どのような施設なのか検証することにより、今後の取り組みが出来るのではと思い質問します。

小野市の蓬萊市長に「公設コンビニ」を開設するに当たり経緯についてお聞きしました。『行政というものは、「物お越し」「事お越し」「人お越し」ですよ。まず「物お越し」は事を起こすための場所、設備、環境やインフラ整備を行う事です。民間と違うのは採算が取れなくても福祉や住民サービス、活性化や活力が要です。「事お越し」は実際に事を起こして行く事です。住民の力、民間の力で起こす事です。それが「人を起こす」事に繋がります。』住民自立による新たな事業が生まれ、お互い自らの経験を生かし地域に貢献できる第 2 の人生にお互い協力しながら地域の力となりうる活力が生まれ、人生の喜びに変わり生甲斐となります。当に「敬老の町」発祥の地にふさわしい多可町に変貌すると思います。コンビニですから人が集まりやすい。

地元野菜や手作り弁当の販売（地産地消）。併設するコミュニティスペースを利用した地域住民交流やイベントの企画運営（経験を生かした職業、趣味、特技等）高齢者（弱者）等を対象とした買物支援事業（商品配達・送迎サービス）等があげられます。現在、コークゼミで行っている内容がこの「公設コンビニ」で具体的に前に進むのではないのでしょうか？セミナー卒業生もかなりおられますが、具体的な対策が無いために熱が冷めてきております。一つのモデルとして、まず行政が「物お越し」から早急に取り組むべき事ではないのでしょうか？

## 【参考資料】

### 町長の今年度予算の結びの言葉

持続可能な多可町を作るためには、地域共生社会づくりなど官民連携の推進は必要不可欠であり、民が出来る事は民に委ね、官が果たす役割を見直す必要があります。制限の伴う公共サービスの枠を超え、地域で持続できる新しい発想によるサービスを構築していくことが、住民の皆さんが安心できる生活につながるものと考えています。多可町を支えて頂いている方々からのご意見をお伺いしながら、前例がないからといってリスクを回避するのではなく、失敗を恐れず、積極的に挑戦し、新しいやり方につなげていくまちづくりを目指して行きます。

### 3. 多可町在住の漫画家の才能を生かせ

現在「多可町の魅力」発信をインターネットやホームページ、ポスター、チラシ等で宣伝されていますが、異なった目線から生活感がにじみ出るような、生きた人間模様や人情感溢れる長閑な風景を表現するには、漫画という新たな方法で全国に発信していく事も必要ではないか。『小学館』出版の、多可町のある集落の事を描き、「都会で生きにいく人たちへ送る…」東京から戻ってきた郷里は街から車で小一時間、冬は鹿やイノシシ、春には山菜やミツバチのミツ、夏にはウナギ、秋には沢山のキノコが…ボクは獲って採って、僕はここで生きてゆく…!!このような素朴な感性が忘れ去られている現在、新たな刺激になり、生き方が見直されないか？

多可町を「主題にした漫画」や「発祥の地の物語等」を、単行本や連載漫画に掲載、また連載漫画を広報掲載すると子供から大人まで楽しめるのではないか？また、違った感性が多可町の良さや新たな発見を産み、故郷に住み続けたいと考えてくれるのではないか？また、移住者や賛同者、観光客も増えるのではないか？

鉄腕アトムやゲゲゲの鬼太郎、野球「巨人の星」、サッカー「キャプテン翼」、ドラえもん、アンパンマン等、漫画を通して多くの子供や青少年達、大人や老人にまで人生に大きな影響を受け成長してきました。

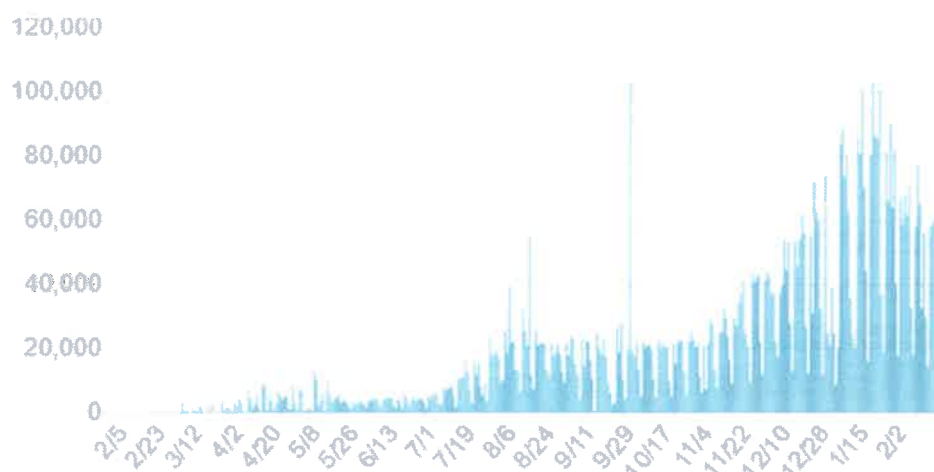
日本の漫画は、世界的にも有名ですし、年代を問わず皆が面白可笑しく楽しみながら人生の礎を育んでくれます。稀に見る「漫画家の才能を生かせ！」と考えますが、町長の所見を問う。

## PCR 検査方法が変わる covid-19 通称、武漢ウイルス検査の

ための PCR 検査の在り方が、2月15日から世界標準に近いやり方になったと聞いていたので、変更されて約1週間経過した今日の時点で、どんな変化が表れているかを厚生労働省のウェブサイトから抜き出してみました。

---

PCR 検査実施人数 74,955 人(累計 7,394,986 人)



初めのグラフは PCR 検査の実施人数です。このグラフで見ると1月上旬から中旬にかけてが一番多く、その後減少しているように見えます。

まだ緊急事態宣言の中ですが、検査数が減ったという事は、検査に行こうとする人も減ったという事なのでしょう。

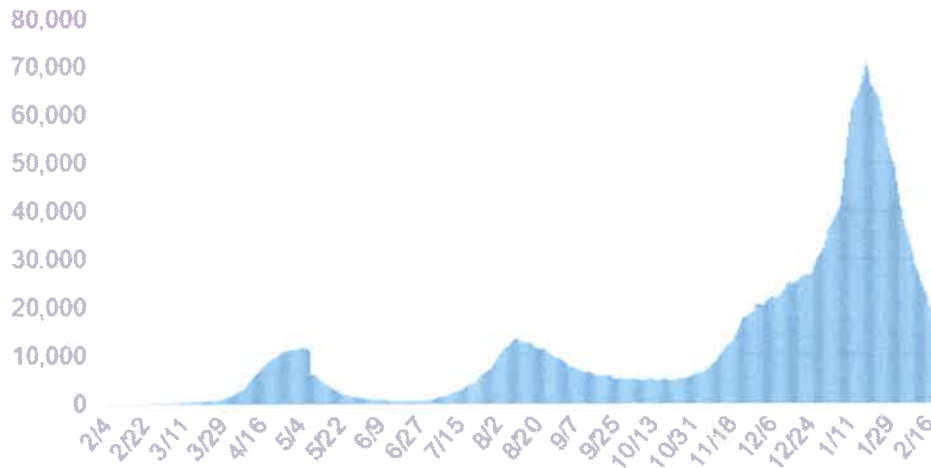
陽性者数 1,281 人(累計 418,874 人)

このグラフは、PCR 検査により見つかった陽性者の人数です。ピークは上のグラフと近くて1月上旬から中旬に一番多くの陽性者が見つかったことが表れています。

注意点は上の検査数と比べて陽性者の数の減少が2月15日にかけて大幅に減少しているのが良く分かることです。

また PCR 検査をした1.7%の人が陽性判定になっていることが分かります。

## 入院治療等を要する者の数 18,336 人(前日比 -534 人)



このグラフは、陽性者の中から、入院治療等を要するとされた人数です。ピークは陽性者数とは数日後ろには離れているように見えますが、2月にかけての減少率が上の陽性者と比べるとなだらかな下降になっていることです。陽性者数と比べると大まかな増減の傾向は似ていますが、直近の減少はむしろ期待される数値を上回っているという事です。重症者数 526 人(前日比 -21 人) 重傷者のグラフですが、入院加療を要する人のグラフと近待しており、加療の為に若干後ろにずれて見える程度です。入院治療等を要する人との比率は 2.8% です。陽性者との比率は 1.6% で PCR 検査をして陽性判定されても、入院治療等を必要とするのは 100 人の内約 3 人、重傷者は 100 人の内 1.6 人と言えられます。

## 退院又は療養解除となった者の数(累計) 395,114 人(前日比 +1,796 人)

これが退院又は療養解除となった人という事で、一応治った方と理解して良いでしょう。これを見ると 2 月上旬にかけて急増していたのに、2 月に入って増加率が減っているように見えます。これは 2 月上旬位から陽性者が減少してきたことを実証しているのかもしれませんが。

## 死亡者数(累計) 7,331 人(前日比 +59 人)

このグラフは死亡された人数ですので、上のグラフと直接比較することはできませんが、傾向としては昨年 1 2 月くらいから増加傾向にあったことが分かり

ます。

最後のところだけ少し減少して見えるのは私の目の錯覚でしょうか？

### PCR 検査の実施件数

PCR 検査の実施件数です。最初の PCR 検査実施人数と実質同じものですが、どのようなところで行われた検査であるかが分類されています。

民間検査会社によるものの比率が思いのほか多いのに驚きました。

本記事の最初に記したように PCR 検査の在り方が、2月15日から世界標準に準じたもの変わったそうなのですが、それがどういうものかというのを記します。

PCR 検査では、人から採取した検体（唾液など）からウイルスを検出するわけですが、そのままではウイルスの個数が余りにも少なくて検出できないので、検体を増幅してウイルスを見つける検査法です。

この時の増幅する倍率を表すのが Ct 値というそうですが、簡単に言えば、元の検体を何倍に増幅するかという目安だと思っていいでしょう。

世界標準というか WHO などから世界に向けて指導されている Ct 値は 30～35 だと言われます。そして、2月14日迄の日本での Ct 値は 40～45 だと伝わっています。

ここで 30～35 と 40～45 としてもどれだけ違うのかは分かりませんが、これを通常の 10 進法の数値で表すと驚く位に大きなものだというのが分かります。この Ct 値というのはサイクル数ともいうそうですが、検体を 2 倍に増幅する回数を指します。ということは Ct 値 30 というのは、2 の 30 乗という事になります。

これを 10 進法で表すと

Ct 値 30 = 1, 073, 741, 824 倍

Ct 値 35 = 34, 359, 738, 368 倍

Ct 値 40 = 1, 099, 511, 628, 886 倍

Ct 値 45 = 3. 5184372 e + 13 倍（手元の計算機では 10 進法で演算できないくらい大きい）

桁数で見ただけでも世界標準の 30～35 と 40～45 の大きな違いはすぐに分かるといえます。これだけ大きく増幅して 5 個のウイルスあるいは、それと思われる断片が見つければ陽性になるのです。

ウイルス関係の研究者などに言わせると上限が 30 で、25 を超えてしまうと、ほとんど信頼性がない。という倍数なのだそう。25 を超えて増幅さ

せると、本来探している物とは異なる物質を検出している可能性が高いという事ですね。

どうした訳か事情は分かっていませんが、日本ではこのような当てにならない倍数にまで増幅してウイルスを検出しようとしていたわけです。だから、陽性に判定されても全く症状がない人などが混ざりこんでしまうため、非常に分かりにくい**怖いウイルス**に見えていたわけです。さらには入院しなくてもよい人たちが多く入院対象になっていたという事です。

ここで理解がいくと思います。

日本は世界標準をはるかに上回るベッド数、医療体制を持っているはずなのに、そして海外と比べて二桁位少ない感染者でありながら、**医療崩壊をする！**と叫んでいた理由はここにあります。

令和3年2月15日から漸くC t値30前後でのPCR検査になるという事なので、この日を挟んで陽性者の数値は全く異なる性格を持っていると思わなければいけません。という事は、緊急事態宣言により国民の行動が規制されたから減ったという事とは異なる原因（要素）が含まれた数値になるという事です。医療従事者にはワクチンの接種が行われ始めていますが、これらのことを踏まえて今後のデータを見ていくことが大切だと思います。

漸く世界標準で行われた検査での実態が分かるわけですので、公平に比較ができるという初めての事態を目撃することになります。



更新日時: 2月26日 15:09 (現地時間)

感染者数

428,553人

1,086

死亡者数

7,647人

63

回復者数

405,257人

## 日本の事例

	<a href="#">東京都</a>		<a href="#">岐阜県</a>		<a href="#">長崎県</a>		<a href="#">山形県</a>
感染者数	109,630	感染者数	4,599	感染者数	1,609	感染者数	542
死亡者数	1,299	死亡者数	103	死亡者数	36	死亡者数	15
回復者数	105,127	回復者数	4,400	回復者数	1,526	回復者数	511
	<a href="#">大阪府</a>		<a href="#">群馬県</a>		<a href="#">山口県</a>		<a href="#">徳島県</a>
感染者数	46,806	感染者数	4,417	感染者数	1,372	感染者数	447
死亡者数	1,101	死亡者数	84	死亡者数	36	死亡者数	16
回復者数	44,047	回復者数	4,142	回復者数	1,260	回復者数	395
	<a href="#">神奈川県</a>		<a href="#">栃木県</a>		<a href="#">大分県</a>		<a href="#">島根県</a>
感染者数	44,424	感染者数	4,068	感染者数	1,288	感染者数	290
死亡者数	669	死亡者数	66	死亡者数	21	死亡者数	0
回復者数	42,489	回復者数	3,810	回復者数	1,214	回復者数	279
	<a href="#">埼玉県</a>		<a href="#">宮城県</a>		<a href="#">和歌山県</a>		<a href="#">秋田県</a>
感染者数	28,962	感染者数	3,621	感染者数	1,161	感染者数	269
死亡者数	534	死亡者数	25	死亡者数	18	死亡者数	6
回復者数	26,674	回復者数	3,448	回復者数	1,102	回復者数	257
	<a href="#">千葉県</a>		<a href="#">熊本県</a>		<a href="#">愛媛県</a>		<a href="#">鳥取県</a>
感染者数	25,904	感染者数	3,440	感染者数	1,056	感染者数	209
死亡者数	426	死亡者数	73	死亡者数	23	死亡者数	2
回復者数	23,543	回復者数	3,299	回復者数	994	回復者数	200
	<a href="#">愛知県</a>		<a href="#">奈良県</a>		<a href="#">新潟県</a>		
感染者数	25,724	感染者数	3,281	感染者数	1,053		
死亡者数	511	死亡者数	47	死亡者数	13		
回復者数	24,262	回復者数	3,180	回復者数	945		
	<a href="#">北海道</a>		<a href="#">三重県</a>		<a href="#">佐賀県</a>		
感染者数	18,937	感染者数	2,495	感染者数	1,043		
死亡者数	667	死亡者数	52	死亡者数	9		
回復者数	17,527	回復者数	2,292	回復者数	1,003		
	<a href="#">福岡県</a>		<a href="#">岡山県</a>		<a href="#">山梨県</a>		
感染者数	17,927	感染者数	2,474	感染者数	940		
死亡者数	280	死亡者数	32	死亡者数	17		
回復者数	16,659	回復者数	2,340	回復者数	906		
#VALUE!	<a href="#">兵庫県</a>		<a href="#">滋賀県</a>		<a href="#">富山県</a>		
感染者数	17,922	感染者数	2,424	感染者数	908		
死亡者数	515	死亡者数	44	死亡者数	27		
回復者数	16,753	回復者数	2,232	回復者数	853		
	<a href="#">京都府</a>		<a href="#">長野県</a>		<a href="#">高知県</a>		
感染者数	9,039	感染者数	2,280	感染者数	884		
死亡者数	152	死亡者数	36	死亡者数	17		
回復者数	8,445	回復者数	2,065	回復者数	863		
	<a href="#">沖縄県</a>		<a href="#">宮崎県</a>		<a href="#">青森県</a>		
感染者数	8,149	感染者数	1,945	感染者数	813		
死亡者数	115	死亡者数	20	死亡者数	20		
回復者数	7,718	回復者数	1,876	回復者数	752		
	<a href="#">茨城県</a>		<a href="#">福島県</a>		<a href="#">香川県</a>		
感染者数	5,674	感染者数	1,891	感染者数	747		
死亡者数	106	死亡者数	70	死亡者数	18		
回復者数	5,169	回復者数	1,728	回復者数	691		
	<a href="#">静岡県</a>		<a href="#">石川県</a>		<a href="#">岩手県</a>		
感染者数	5,072	感染者数	1,825	感染者数	553		
死亡者数	92	死亡者数	62	死亡者数	30		
回復者数	4,709	回復者数	1,589	回復者数	493		
	<a href="#">広島県</a>		<a href="#">鹿児島県</a>		<a href="#">福井県</a>		
感染者数	5,014	感染者数	1,758	感染者数	544		
死亡者数	100	死亡者数	28	死亡者数	25		
回復者数	4,823	回復者数	1,686	回復者数	503		

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議員 吉田政義 様  
 多可町議会議員 清水俊博



受 領 日	番号
令和 3 年 3 月 8 日 午前 午後 8 時 30 分	9

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<p><b>1. 令和三年度「施政方針」について</b>                      (変革 そして未来への約束)</p>	町長
<p>デジタル・ガバメントとは、官民協働を軸としデジタル技術を活用しながら行政サービスの見直しをおこない、行政の在り方そのものを変革すること政府の電子自治体構想です。「新たなまちのかたち」創造のため十二分な準備が必要です。①DX化等デジタル環境整備による住民の皆様へ素早く良質なサービスを提供出来て初めてその目的が達せられたと言えます。ハード面は勿論ですがより重要なのはソフト、人です。激変する社会構造に対応する職員スキル習得計画等。その工程表は如何にお考えですか。</p>	
<p><b>2. 令和三年度「教育方針」について</b>                      (明日の多可町を担うこころ豊かな人づくり)</p>	教育長
<p>ニューノーマルな時代＝非接触・遠隔・孤立孤独の時代を生き抜くために                      ①本格化するデジタル社会、明暗両面へ即時対応可能な教職員の育成など環境整備計画の具体は如何に（乖離が学校 VS 家庭・児童生徒 VS 教職員に）                      ②読書活動推進計画と学校における活字離れへ対策はどのように                      ③子ども達が本来持っている自己肯定感を高める取り組みは如何に</p>	
<p><b>3. ひとり親等世帯へ急ぎ支援の強化・拡充を！</b>                      (疲弊するひとり親環境へ急ぎ支援が必要です)</p>	町長
<p>ひとり親世帯の就業率は、母子世帯、父子世帯ともに就業率は 80%台と決して低くはありません。しかし就労収入は低く、母子世帯の母は 200 万円、父子世帯の父は 398 万円です。日本の子どもがいる世帯の平均収入 707 万円。世界比較でも、ひとり親家庭の貧困率は非常に高く、OECD 加盟国の平均値よりはるかに高いレベルにあります。心身共に多くの負担を強いられています。「子育てするなら多可町」以下伺います。                      ①対象の世帯数及び人数、構成状況は 母子、父子、その他別に・・・                      ②出産・育児・教育・就職⇒各ステージ共有するワンストップ窓口が必要                      ③町営住宅等への入居及び更新時における保証人制度の改善等</p>	

## 質 問 の 内 容

### 1. 令和三年度「施政方針」について

#### (変革 そして未来への約束)

##### <デジタル・ガバメントの基本>

- ・行政手続きのデジタル化。利用者中心の行政サービスの実現と手続きの原則オンライン化を通じて、業務改革を実施する。
- ・ワンストップサービスの推進。利用者の利便性向上を目的とし、関連する行政手続きと民間手続きを含めたワンストップ化を推進。
- ・行政サービスとの連携。多様なサービスとデータを行政間で連携させ相互運用性を高めながら、連携基盤の整備および活用を推進。
- ・デジタル技術の活用。国民・企業に関わりが深い分野を中心に、AI・RPA などデジタル技術の活用により業務の効率化を推進。
- ・デジタル・ガバメントの影響で企業・自治体が意識すべきこと。  
デジタル・ガバメントの推進により、今後の企業・自治体活動では業務改革(BPR) やデジタル化の推進をさらに加速させる準備が必要です。

### 2. 令和三年度「教育方針」について

#### (明日の多可町を担うこころ豊かな人づくり)

##### <ICT 整備に対する意識格差>


文部科学省や学識者、予算を計上し導入設置者である自治体や学校、そして ICT 機器を製造・開発・運用する民間企業は、ICT 整備を積極的に「推進する側」です。それに対して ICT 機器を「利用する側」にある教職員、さらには保護者との意識にも格差が生じています。

公立校の場合は、ICT 整備の導入を検討・決定する教育委員会と、ユーザーとなる学校現場の先生では、職場が異なっていることが要因のひとつとして考えられます。

学校に ICT 機器が整備されたけれども、活用方法まで十二分に確認できず、学校現場に裁量がゆだねられるケースが多いため、困惑を示す先生も多いのではないのでしょうか又、ICT 機器活用の本質まで十分に啓蒙していくには、研修会や情報連絡などを介して、多大な時間と労力をかけてきめ細かく実施していく必要があります、この点が意識格差の是正に向けた弊害になっていることも考えられます。

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議長 吉田政義 様  
多可町議会議員 笹倉政芳 

受 領 日	番号
令和 3 年 3 月 8 日	10
午前・午後 8 時 30 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. ワクチン接種の体制整備は	町長
<p>推進本部を立ち上げてから1か月半が経過しましたが、ワクチン接種の体制整備は順調に進んでいるのでしょうか。また3月4日に予行演習されましたが、どんな反省点がありましたか。</p>	
2. いまこそ「一日ひと褒め」を推奨しよう	町長
<p>長期にわたる新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で「三密」を避けるなど、私たちの生活が大きく変わりました。住民のみなさんは健康や経済に大きな不安を感じ、ストレスが溜まり荒んだ状況になっています。こんな時こそ、町を挙げて条例の趣旨を広める取り組みを奨励してはどうでしょうか。</p>	
3.	

## 質 問 の 内 容

### 1. ワクチン接種の体制整備は

この一年、医療従事者をはじめ日本社会全体が新型コロナウイルス感染拡大防止に一生懸命に取り組んできました。今後は、混乱なく安全・安心なワクチン接種が万全な体制でスムーズに行われることを期待するところです。

多可町では笹倉副町長を本部長に西脇多可医師会などと連携し集団接種の準備を進め、西脇市と共同で作戦会議を開催し医療従事者も使命感を持って取り組んでいただいているとのことで心強く感じています。

さて、推進本部を立ち上げてから1か月半が経過しましたが、ワクチン接種の体制整備は順調に進んでいるでしょうか。また3月4日に予行演習が行われましたが、どんな反省点がありましたか。

接種は強制ではなく、個人の判断で自主的に受けてもらうことになっています。そのためには、十分な情報公開と丁寧な説明が必要と考えます。何点か気になるところを上げましたので現在の状況をお聞かせください。

- ① 集団接種が本格化するのは4月以降になると聞いておりますが、最新の接種計画をお聞かせください。
- ② 自力で会場に行けない方の移動手段はどんな対策を考えていますか。
- ③ 医師や看護師の人数の確保はできましたか。
- ④ 接種率を上げるためにどう対応していくのですか。
- ⑤ 万が一副作用が起こった場合、どんな対処を考えていますか。

新型コロナのワクチンは、感染症に対する免疫をつけたり強めたりすることで、集団免疫の獲得、個人の発症や重症化を予防する効果が期待されています。これまで経験したことのない規模での予防接種に望む町長の見解を求めます。

## 2. 今こそ「一日人褒め」を奨励しよう

「多可町一日ひと褒め条例」を施行してから2年が経ちました。これまでは、この条例が理解しやすい内容でもあることから「学校だより」や「人権作文」「川柳会」に引用されるなど心の糧となっています。また、庁舎には立派な懸垂幕をかけて訪れる人の心を和ませています。

地域の中でも、何気ない会話の中で「これ、一日ひと褒めやね」と思わず顔を見合わせ笑いが起きるなど、少しずつでも広がりを感じていましたが、長期にわたるコロナ禍で「三密」を避けるなど、私たちの生活が大きく変わりました。住民のみなさんは健康や経済に大きな不安を感じ、ストレスが溜まり荒んだ状況になっています。

議会広報編集特別委員会では、少しでも心が和めばと議会だより「第60号」から、まず議員の「ひと褒め」を住民のみなさんに発信しています。こんな時こそ、町を挙げて条例の趣旨を広める取り組みを、今一度奨励してはどうでしょうか。例えば、


- ① 褒められてうれしかったメッセージを募集。
- ② 「褒める」をテーマにした講演会の開催。
- ③ のぼりやステッカーなど啓発グッズを作成し賛同事業所の指定など事業所の積極的な参加を促す。
- ④ 町広報、議会広報、タカTV、ネットや大会、会議などの機会を活用。といったことなどです。

家庭・学校・地域・企業・社会のなかで褒められれば元気が出ます、感謝されれば、前を向く原動力になります。そういった土壌を根づかせれば、都会に負けない多可町の力強い活力がはぐくまれていくと確信するところです。

町長の見解を求めます。

# 一般質問通告書

【第104回定例会】


多可町議会議員 吉田政義 様  
多可町議会議員 加門寛治 

受領日	番号
令和 3 年 3 月 8 日 午前・午後 8 時 30 分	11

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 新型コロナウイルスのワクチン接種について	町長
<p>現在、ワクチンの輸入の目途がほとんど立っていない状況の中、4月中旬より65歳以上の高齢者の接種が何とか開始できるような報道がなされていますが、そこで質問です。</p> <p>(1) 計画通りにワクチンの輸入及び配布がされると仮定して、約2万人の内、16歳未満の子供を除く希望者の接種スケジュールはどうなっているのでしょうか。</p> <p>(2) ファイザー社製のワクチン接種は全世界では既に数百万件の接種実績があり、報道で見る限り、副反応で重篤になった事例は報告されていません。一部の情報弱者の方が騒いでおられるようですが、住民の方にわかりやすい説明をしてください。</p> <p>(3) 先日、ワクチン接種のシュミレーションを行ったとのことですが、その時の反省点と改善点が分かれば教えてください。</p>	
2.	
3.	

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議員 吉田政義 様  
 多可町議会議員 酒井洋子 

受 領 日	番号
令和 3 年 3 月 8 日 午前・午後 8 時 30 分	12

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<p>1. 福祉と公共交通の再考を</p> <p>様々な住民アンケートなどで常に上がって来る「交通手段」への不安は、先延ばしにすることなく手立てを打つべき重要な課題です。</p> <p>高齢化が進み、公共交通を利用する人が学生と高齢者という傾向にある昨今、福祉タクシーチケット事業と公共交通などの移動に関する事業を一体的に考えることが効率的ではないでしょうか。</p>	町長
<p>2. 学びの場を快適に</p> <p>子どもたちの健全な育成のために、修学環境の整備充実は重要な課題であるにもかかわらず、学校設備は時代遅れだと世間では言われています。</p> <p>特に、トイレの洋式化率は持ち家で 93.2%となっており、全国公立小中学校の洋式化率の 57%と大きく開きがあります。今や和式を使ったことのない子どももいて、学校では排せつができないようなことが起きているようです。多可町の小中学校の現状や今後の計画をお聞きします。</p>	教育長
<p>3.</p>	



## 質 問 の 内 容

### 1. 福祉と公共交通の再考を

「高齢で自動車免許の更新ができなくなった。停留所まで遠いので行きは頑張っても帰りは荷物があって厳しい。」「家から停留所までの下り坂が急で、悪い膝が痛む。家の近くをバスが通ってもらえないか。」こんな相談を人が集まるたびに聞きます。一人暮らしの高齢者、90歳を超えるような夫婦世帯も増えています。こんなご意見は、決しダメ元で言っているのではなく、本当に厳しいのだろうと想像できます。役場にもこんなご相談が時々はあるのではないのでしょうか。

道路が狭く停留所から遠い場所に民家があるような集落が多い多可町です。地理的な事情は変えられませんし、利用者の年齢も高くなってきます。人口流出の多い周辺地域では頼む人も少なくなっていて、このような要望は今後さらに増えることでしょう。

多可町には、路線バスへの赤字補填、スクールバスなどの運行事業や福祉タクシー券事業などがありますが、路線バスについては、主な利用者となる高齢者にとって、バス停までの距離や時間帯などの事情で、利用者は年々減少傾向にあります。ICカードの導入は利用者にとって嬉しい制度で少し利用状況が持ち直したかもしれませんが、料金の問題と同時に事業内容の改善は常に必要だと感じます。スクールバスについては、授業時間数の関係で下校時間の変更が生じたり、学校の規模適正化などの検討が進めば新たなニーズが増えることが予測されます。また福祉タクシー券は、一定の条件を満たせば24枚つづりのものを1000円の負担で購入でき、1枚500円の金券としてタクシー乗車に利用できます。これを利用して移動の自由を得ている人も一定数いらっしゃいますが、病院や買い物などをする中心部から遠方に住んでいる人にとっては「移動の自由」を得るには程遠い制度になっていることも事実です。

日常生活や社会生活において、住む場所によってそのレベルに差があってはならないはずです。地域のどこに住んでいても同じ行政サービスが受けられるのは当たり前であるべきです。

地域公共交通の整備が充分とは言えない要因に、事業の優先順位の中で後回しにされていたり、路線バスへの赤字補填による維持や、スクールバスなど、複数にまたがる事業の実施方法が、予算の効率性や合理性を阻んでいるということはないのでしょうか。

現在の状況に不便さを感じながらも、現状に不平を言わず慎ましくこれまでどおりの生活を送るというのが、多可町人の人となりだと感じています。自家

用車で不自由なく移動できるわたしたちには想像もできないことかもしれません。転出理由の中に公共交通の不便さを上げている人があることを見ると、この問題が暮らす上でいかに重要かが分ります。住民の慎ましさに甘えることなく想像力を働かせて、この事業の優先順位を上げ取り組むべき課題ではないでしょうか。

多くの人が自家用車を使っているため、公共交通機関の利用は高齢者か学生に偏る傾向にあります。高齢者に必ずしも障がいがあるわけではないので、この際福祉タクシー券事業も地域公共交通として「住民の自由な移動」を目的とする事業とする方が無駄が少ないように感じますがいかがでしょうか。

さて、この春から運行が開始される西脇市の「乗り合いタクシーむすぶん」は、利用料金が65歳以上と小学生が200円、中学生から64歳までは400円など一定の料金で高齢者にも分かり易い設定です。市街地域に循環バスを運行し、離れた場所からは市街地域まで乗り合いタクシーを利用できるというものです。タクシー乗り場は、ごみステーション毎で、各隣保にひとつということです。さらに、西脇市の福祉タクシー助成は、障がいのある人へのリフト付きタクシー運賃の助成です。所得制限や利用に一定のルールはあるものの500円券を最大60枚配布されるということです。

ここは敬老の日発祥のまち多可町です。リュックを背負って、ICカードピットとしてバスに乗り、元気に出歩く高齢者の姿が日常風景になるのが望ましいと思いませんか。子育てするなら多可町と同時に、明るく元気にエイジング宣言も多可町の目指したい目標ではないでしょうか。

## 2. 学びの場を快適に

さて、第2次教育ビジョンの修学環境の整備充実の中で、児童生徒が安全・安心・快適に過ごせる学校施設の環境整備に取り組むとありました。

各小中学校のトイレの洋式化はどの程度なのでしょうか。

以前ある学校で、和式トイレを使ったことがない子どもが利用できないと聞いたことがあります。排泄は子どもの健康に関わる重大な行為です。心身の調子が整ってこそ、学習にも身が入るのではないのでしょうか。まして新型コロナウイルス対策は常に念頭に置かねばならない課題である現在、トイレでの感染リスクについても神経を配らなければならない状況です。

コロナ対策のため遠隔授業などの必要性から、計画を前倒しして、小中学校の児童・生徒に1人1台のコンピューター配備を完成させること

となりました。1人1台のコンピューターが備わっている学校で、トイレが5K（臭い、汚い、暗い、怖い、壊れている）状態のまま放置されているというのは、完全にバランスを欠いているとは思いませんか。

子どもたちの学びの場を快適にするために、トイレの改修は急ぎ取り組むべきではないでしょうか。

# 一般質問通告書

【第104回定例会】

多可町議会議員 吉田政義 様

多可町議会議員 日原茂樹



受領日	番号
令和 3年 3月 8日 <del>午前</del> ・午後 9時20分	13

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. DX (デジタルトランスフォーメーション) を推進せよ	町長
別紙詳細	
2. 人口減少時代の上下水道経営を問う	町長
別紙詳細	
3.	
別紙詳細	

## 質 問 の 内 容

### 1. DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進せよ

新型コロナウイルスの感染拡大を一つのきっかけとして、各自治体におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が本格化しています。

経済産業省は、DXを「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義しています。

DXは単なるデジタル化ではなく、企業のビジネスモデルや社会のあり方をデジタル技術で変革していく取り組みといえます。

自治体や行政におけるDXとは、データ化された情報を公開し、官民が連携してそれらを活用しながら、社会の課題解決に役立てていくことを指します。例えば、住民の通勤や通学に関する情報を基に、公共交通機関の運行ルートやダイヤをシミュレーションしたり、民間企業と行政が連携して保育サービスの需要を予測し、必要な地域に必要な育児支援サービスを提供したりといった取り組みが自治体DXの一例です。

新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、自治体や行政においてもDXの必要性が高まっています。民間企業でペーパーレス化が浸透する中、行政内部においては依然として紙文化が色濃く残っています。

しかし、コロナ禍の状況下では感染防止のため、社会全体で書面の受け渡しや対面による説明をできるだけ避け、リモートワークやオンライン会議の導入が求められています。

2020年7月に閣議決定されたコロナ禍における「経済財政運営と改革の基本方針2020」では、デジタル化への集中投資・実装、環境整備を進める方針「デジタルニューディール」が打ち出され、行政手続きの抜本的なオンライン化やワンストップ化、手続きの簡素化、書面・押印・対面主義からの脱却、国・地方を通じたデジタル基盤の標準化、各分野でのデータ連携基盤の構築、オープンデータ化の推進などが実現すべき目標として挙げられています。

自治体がDXを推進すべきもう一つの理由としては、生産年齢人口の減少による税収減と、それに伴う人件費の削減により、自治体の職員が担うべき業務負担が増加していることがあります。

多可町においても空き家対策、介護予防、鳥獣被害対策など、ライフスタイルの変化や人口構造の変化により新たな課題が生じている一方、職員の数が減っているため、当然ながら一人当たりの業務量は大幅に増加しています。

限られた人員で業務を回していくには、従来の業務を効率化することが欠かせません。そのためには紙媒体中心の業務プロセスを見直し、デジタル化を押し進めていくことが重要です。

また、国は自治体DXを加速させるべく、2021年1月から26年3月までを「自治体DX推進計画」の対象期間とし、情報システムの標準化や行政手続きのオンライン化、マイナンバーカードの普及促進、AI・RPAの利用促進、テレワークの推進、セキュリティ対策の徹底などに重点的に取り組むとしています。

生産人口の減少によって職員の数が削減され、一人ひとりの業務負担は増加します。DXの推進は多可町を存続させていく上でも必須の選択であり、重点的に取り組む課題であると思います。今後どのように取り組んでいくのか町長の所見を伺います。

## 2. 人口減少時代の上下水道経営を問う

上下水道事業は、住民生活に必要なライフラインであるとともに、大規模な事業用資産を保有していることから、計画的かつ合理的な事業経営に基づく持続可能な上下水道の維持が求められています。

少子高齢化による急速な人口減少に伴う給水人口の減少や、節水機器の普及による給水量の減少などにより、料金収入の大幅な減少が予測されています。

また、これまでに整備されてきた上下水道の管路や処理施設などの事業用資産が老朽化している中での老朽管の布設替えや、いつ起きてもおかしくない大災害に向けた施設の耐震化などによる施設更新費用の増加が見込まれます。

更に地方自治体における上下水道部門の職員数は全国的にみて、この20年間で約6割まで減っています。このような上下水道事業を取り巻く人・モノ・カネの厳しい状況は、今後ますます加速していくなか、将来にわたり持続的な経営を確保するためには、中長期の経営見通しに基づく経営基盤の強化や、組織、体制の強化に早急に取り組む必要があります。

多可町は下水道処理施設の統合や管路の長寿命化などに取り組んでいますが、これで十分でしょうか。

適切な維持管理や、計画的な改築更新の実施を含む中長期的な観点からの収支構造の適正化、脆弱な人員体制を補う広域化・共同化の推進、下水道における資源、エネルギー利用の可能性の検討など、上下水道事業の持続性を高める取り組みが必要です。

町長の所見を伺います。